

平成17年度 街美化アダプト活動参加団体アンケート調査 集計結果

< 調査の概要 >

・調査の対象: 街美化アダプト活動を実施している全団体

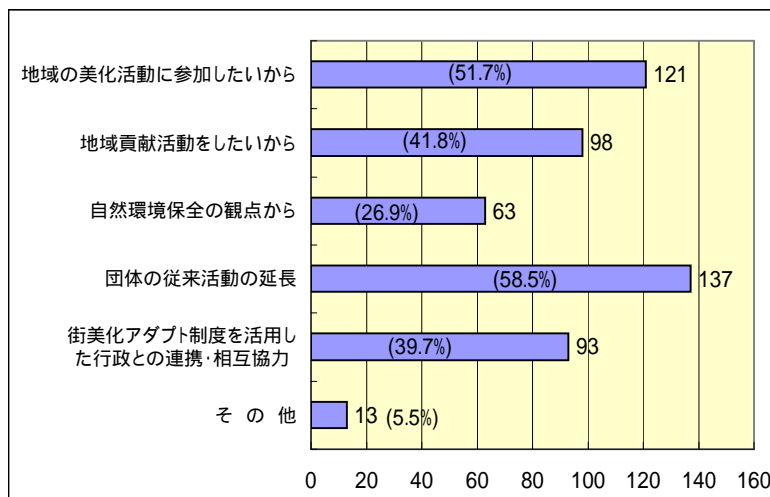
・調査の方法: 平成18年3月にアンケート用紙を団体あてに送付し、返却された回答を集計。

・アンケート回収率:

回収数	234	アンケート配布数	305	回収率	76.7%
-----	-----	----------	-----	-----	-------

問1 街美化アダプト活動に参加している理由。(複数回答可)

	回答数
地域の美化活動に参加したいから	121
地域貢献活動をしたいから	98
自然環境保全の観点から	63
団体の従来活動の延長	137
街美化アダプト制度を活用した行政との連携・相互協力	93
その他	13
合計	525



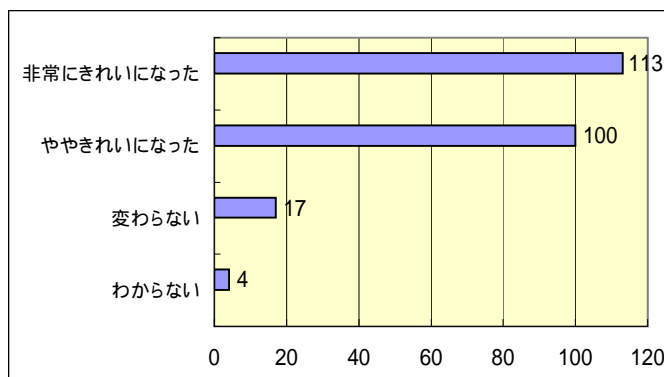
その他の主な意見

- ・会員のふれあいの場になっているから。
- ・子供たちに公園をきれいにする活動をさせたいから。
- ・市からの委託により実施していると思っている人が大多数。
- ・子供たちに美化活動の大切さを考えて欲しいから。
- ・自分の住んでいるところに隣接しているから。
- ・誰かがやらなくては美化が保てないから。
- ・子供たちが利用し、遊んでいる姿を見ると美化が大切だと思うから。
- ・子供たちに地域を大切に思う心を養いたいから。
- ・高齢者の地域奉仕活動の一環として

問2 街美化アダプト活動の実施による成果について

(1) 街美化アダプト制度導入後の導入箇所の美化効果について

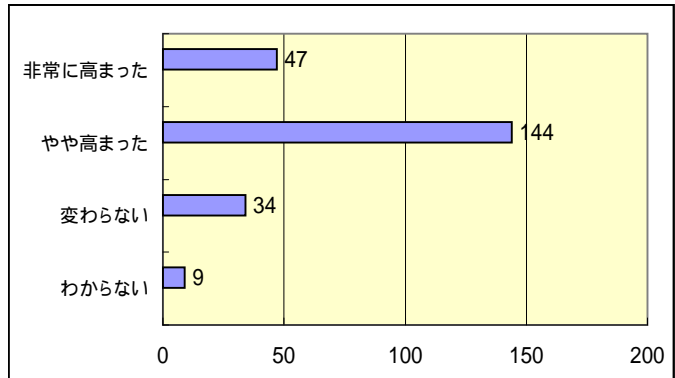
	回答数	割合
非常にきれいになった	113	48.3%
ややきれいになった	100	42.7%
変わらない	17	7.3%
わからない	4	1.7%
合計	234	100.0%



(2) 街美化アダプト活動による意識効果について

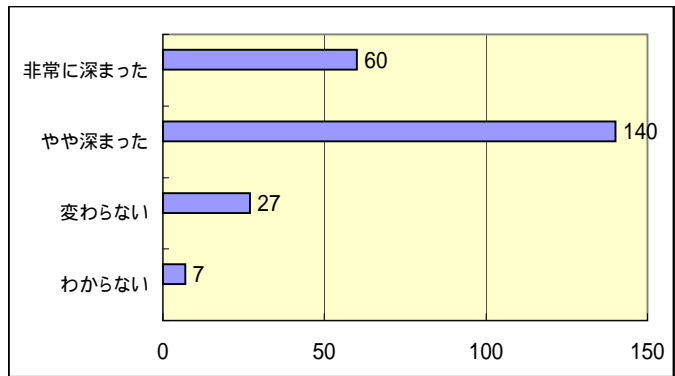
ア 団体のメンバーの「街美化」への関心の高まり

	回答数	割合
非常に高まった	47	20.1 %
やや高まった	144	61.5 %
変わらない	34	14.5 %
わからない	9	3.8 %
合計	234	100.0 %



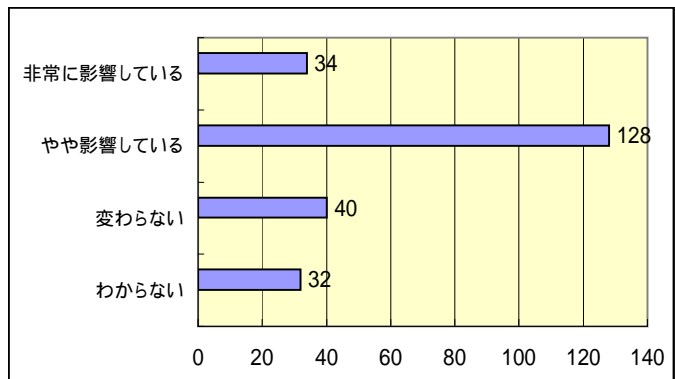
イ 団体のメンバーの連帯感の深まり

	回答数	割合
非常に深まった	60	25.6 %
やや深まった	140	59.8 %
変わらない	27	11.5 %
わからない	7	3.0 %
合計	234	100.0 %



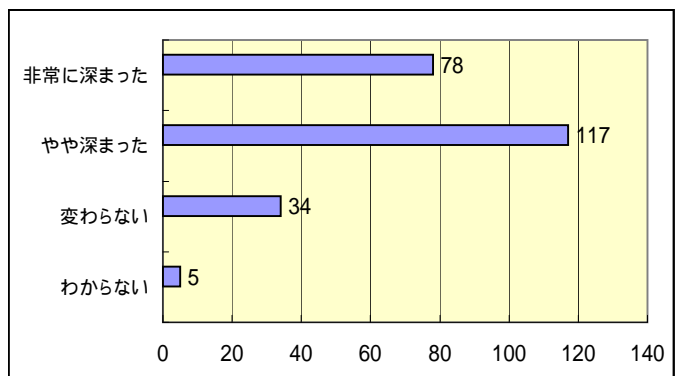
ウ 団体の活動の導入エリアの住民の意識に影響

	回答数	割合
非常に影響している	34	14.5 %
やや影響している	128	54.7 %
変わらない	40	17.1 %
わからない	32	13.7 %
合計	234	100.0 %



エ 活動場所や地域への愛着の深まり

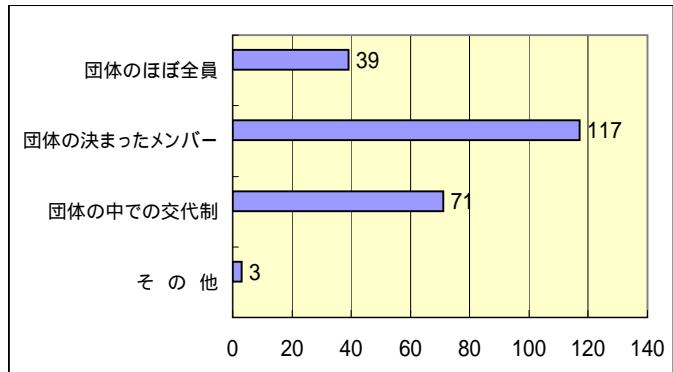
	回答数	割合
非常に深まった	78	33.3 %
やや深まった	117	50.0 %
変わらない	34	14.5 %
わからない	5	2.1 %
合計	234	100.0 %



問3 活動参加者は団体のどのような人か

	回答数	割合
団体のほぼ全員	39	17.0 %
団体の決まったメンバー	117	50.9 %
団体の中での交代制	71	30.9 %
その他	3	1.3 %
合計	230	100.0 %

不明...4



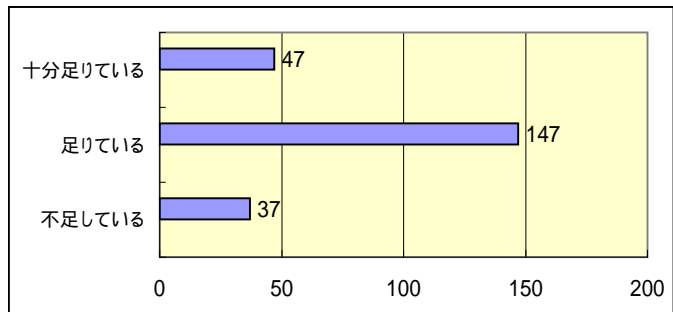
その他の主な意見

- ・全員で実施する日と、自治会の役員など団体の一部のメンバーで実施する日とがある。
- ・決まったメンバー以外に毎回1～2名の方が参加している。

問4 活動に参加する人員は足りているか

	回答数	割合
十分足りている	47	20.3 %
足りている	147	63.6 %
不足している	37	16.0 %
合計	231	100.0 %

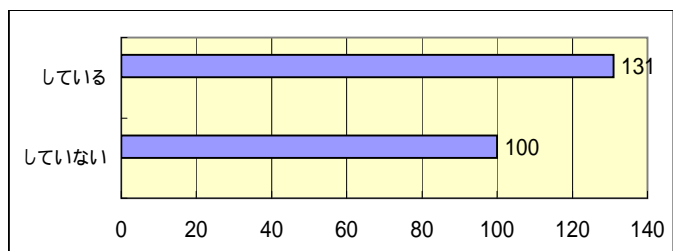
不明...3



問5 活動参加者を増やすための工夫の実施

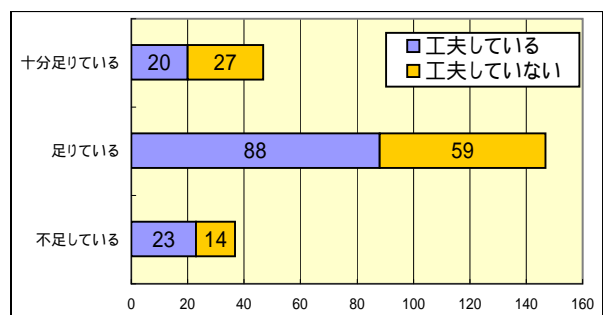
	回答数	割合
している	131	56.7 %
していない	100	43.3 %
合計	231	100.0 %

不明...3



参考 問4と問5の相関関係

問4 \ 問5	工夫している	工夫していない	合計
	十分足りている	20	
足りている	88	59	147
不足している	23	14	37
合計	131	100	231



問6 問5で「している」と答えた団体の具体的に実施している工夫の内容

主な内容

活動日の周知に関するもの（文書で実施しているもの）

- ・自治会報で活動日の周知。
- ・自治会掲示板で活動日の周知。
- ・回覧版で活動日の周知。
- ・マンションの玄関ホール・エレベーター内にて活動日の周知。
- ・活動日を全会員宅に配布。

活動日の周知に関するもの（文書以外の方法で実施しているもの）

- ・諸行事において、アダプト活動の説明・案内等を日常的に行っている。
- ・活動終了後、定例会を実施して次回の活動日を確認
- ・隣近所の人に呼びかけて楽しく参加できるようにしている。
- ・会議等を利用して協力をお願いしている。
- ・活動日前日に個別に参加要請をしている。
- ・自治会内の関係者への呼びかけを実施している。
- ・商店街アナウンスにて告知している。
- ・活動日当日の朝、広報車で町内を回る。

活動日の設定方法に関するもの

- ・活動日を毎月月末の木曜日と決めている。
- ・毎月の活動日を第 週の 曜日と決めている。
- ・活動日を毎月 日と決めている
- ・土曜日の朝が一番人員が集まりやすいので、なるべくその時間に活動を行っている。
- ・少しでも多くの方が参加できるよう、作業日を土曜日と日曜日に活動を実施している。
- ・参加者の都合の良い日に活動をする。
- ・自治会館の清掃と合わせて実施している。
- ・ターゲット・バードゴルフ及びゲートボールの練習日の午前中に行う。

参加者への物品の支給に関するもの

- ・参加者に茶・ジュース・菓子を出す。
- ・年間で参加回数の多い人に粗品を出す。

活動の実施方法に関するもの

- ・自治会内の班の当番制で実施している。
- ・年間計画を決めて、自治会内の区レベルで順番にアダプト活動をしている。
- ・清掃当番を決めてノートを作成し、活動日、活動者名を記入して地域の会員全員が順番で活動している。

アダプト活動以外の地域での交流行事などの実施に関するもの

- ・活動後のトーク会・お茶飲み会を楽しむ。
- ・レクリエーション・ゲームをやっている。
- ・活動終了後にミーティングを行っている。
- ・自治会内で当番制で実施しているが、親睦と交流を目的に合同作業日も設定している。
- ・第1回目の活動と、年末の活動時に意識啓発と親睦を兼ねて、活動後にバーベキュー大会やもちつきを行っている。
- ・活動場所での子ども会との交流イベントの開催している。
- ・野草の天ぷらやよもぎだんごづくりイベントの開催している。
- ・みどりの協会の花補助制度を利用し、皆で花植えを楽しみにしている。
- ・活動をしている仲間、旅行に行って仲間意識を高くしている。

その他

- ・不参加の理由によっては不参加者から欠席金をもらっている。

問7 街美化アダプト制度の問題点や今後の課題

主な意見

参加者の拡大、参加意識の向上に関すること

- ・無関心や参加しない人をどうやって啓発し自発的に参加させるかが課題。
- ・住民の地域団体への参加意識の低下、参加していたとしても義務的な参加意識が支持される雰囲気。
- ・自分たちのまちは自分たちで美化するのは当然なことと考えているが、アダプト活動の意識が薄い。
- ・自治会内の高齢化のため、年々活動に参加する人が減少傾向にあることと参加者の健康と安全管理に苦慮している。若者の協力が不可欠だが、説得が難しい。
- ・7～8月は雑草がたくさん増え仕事量が増えるが、夏休みで外出する家庭も多く参加者が少ない。
- ・色々な団体の方が、もっと街美化に関心を持って参加してくれれば良いと思う。

街美化意識の向上に関すること

- ・公園を利用する人々に美化意識が欠けている。市民全体のマナー、良心の向上の啓蒙活動の実施していく必要がある。
- ・積極的に美化に努める活動がある一方、公園来訪者による不法投棄が増加している。社会道徳の悪化が顕著になってきたと思う。
- ・ゴミ（お菓子、花火、タバコ、ビンなどのガラス）などはしっかり片付けること、また、犬のフンは飼い主が処分することを促す看板を公園に設置してほしい。
- ・タバコのポイ捨て、空き缶、ゴミの放置についての広報活動を実施する必要がある。
- ・自分たちのまちは、自分たちできれいにするという考え方には賛同するが、実際には現場で活動する人のみが苦労して、良好な環境を維持しているのが現状。

街美化アダプト制度の普及啓発に関すること

- ・広報さがみはら等で、街美化アダプト制度を広めていただければ、参加が増えるのではないかと。
- ・街美化アダプト制度の存在を、より多くの人に知ってもらうための広報活動が必要と感じる。
- ・行政として本制度を強調する場合は、さらなるアピール、シンポジウム等広く市民に周知徹底を要するものと思われる。
- ・街美化アダプト制度が十分理解されていない。もっとPRして、会員に理解してもらいたい。

街美化アダプト制度の制度改善に関すること

- ・活動支援費が少ない。面積だけで活動支援費を判断するのではなく、活動場所の状況（落葉樹の本数など）にて判断するべきである。
- ・基本的に公園管理は市の仕事。余力のある自治会では街美化アダプト制度に参加できても、極小自治会では公園清掃は負担。今後は青少年団体等への持ち回り委託等を検討してみたらどうか。
- ・もう少し活動支援費を多く出してもらえたら、もっとやりがいを得られると思う。

その他

- ・活動予定日直前に業者による除草等が入る場合がある。業者が入るのはありがたいが年間予定に基づいて活動しているので、予定の調整をお願いしたい。
- ・当町内では空き地もほとんどなく、住民が自宅回りの美化には気を使っているのに、巡回しても放置されているごみはほとんどなく、ほぼ満足している。
- ・今後も本制度の継続をお願いしたい。
- ・活動団体へのアドバイス、実施結果の評価を年1回程度専門家の目で行ってほしい。
- ・良い制度であるが、行政責任者の評価をいただきたい。
- ・設備の点検と不備箇所の指摘等の団体へのアドバイスがほしい。
- ・子供たちと共同で活動が出来れば、安全・安心のまちづくりの推進を図れる。
- ・身近な住民が参加できるので、やりがいと達成感がある。
- ・落ち葉が多い秋とその他の季節では必要活動人員やがだいぶ違うので、バランスが難しい。
- ・清掃用具保管庫の設置
- ・児童遊園の樹木の剪定を毎年実施してほしい。